

平成26年12月の「大阪森林便り」

住宅用丸太が値上がり 今夏比 国産杉1割、北米産6%

供給減少、製材品に波及も



柱や梁に使う丸太が値上がりしています。

柱に使う国産の杉は、今夏の安値に比べ1割高く、梁用の北米産丸太のドル建て価格は6%上がりました。供給の減少などにより価格が上向いてきました。

国産丸太の10月の平均取引価格は、杉の柱用で3か月連続で上昇しました。夏から秋にかけての台風で、伐採作業が遅れ供給が少ない状況です。

桧の柱用は、5月と比べると2%高くなっています。

北米産の11月積み対日価格は、梁に使う松材が2か月ぶりに上昇しました。米国が供給を削減しています。

(2014年11月8日 日本経済新聞記事から抜粋)

集成材原料が2%下落 — 欧州産10～12月積み



柱と梁に使う集成材の原料板材の対日価格が3四半期連続で下落しました。欧州産の10～12月積み価格は、柱向け・梁向けともに前期比2%安くなっています。集成材の価格は横ばいが続いています。

(2014年11月12日 日本経済新聞記事から抜粋)

コンクリート型枠、国産材で — 合板メーカー

品質向上、新たな収入源に



国内の合板メーカーが、国産材を使ったコンクリート型枠用合板事業に力を入れ始めました。型枠用市場は約95%が南洋材を使う輸入品です。

(2014年11月19日 日本経済新聞記事から抜粋)

国産合板、値下がり続く ― 前月比4%安

戸建ての建築低迷



国産合板の取引価格が2か月連続で下落しています。前月比4%安く、1年5か月ぶりの安値を付けました。

持家の9月の着工数は、8か月連続で前年同月実績を下回りました。

合板メーカーは7月頃から1～2割の減産を打ち出していましたが、メーカー在庫は増加しました。

(2014年11月22日 日本経済新聞記事から抜粋)

